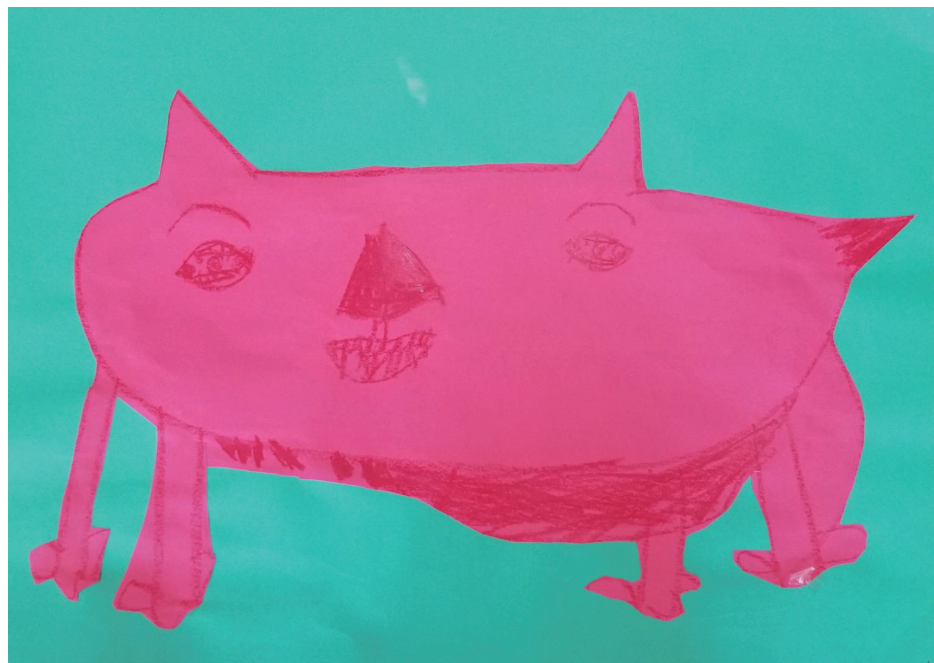


行動障がいについて考える



障がいのある子どもの生活においては、幼少期から、できることを増やすための働きかけが強くなりがちです。その結果子どもは自信を損ないやすく、元来の願いとは裏腹に、様々な生きにくさにつながる危険をはらんでいます。

水仙福祉会では、乳幼児期・学齢期・成人期にわたる長年の支援を行なってきました。激しい自傷や暴力、必死なこだわりといった「行動障がい」を、本人の訴え・表現としてその意味を受けとめ、背景にある思いに寄り添って周囲の人との関係を調整していく支援を〈意味了解的アプローチ〉として提唱しています。

今回の講座では、心理の立場から支援の原点について鯨岡峻先生に、また福祉の立場から

意味了解的な支援について松端克文先生にご講演いただきます。実践報告では、成人期の利用者への長期にわたる支援と幼児期の支援を紹介します。支援者との信頼関係を基盤とした「自分で決める」営みへの支援が、その人の存在を認め、ひいては自尊感情・自己肯定感につながっていることを、事例を通して検討します。

支援の原点と意味了解的アプローチ

— 自尊感情・自己肯定感に焦点をあてて —

2019年12月21日(土)
9:45～16:30 (開場 9:30)

会場：大阪府教育会館 たかつガーデン 8階「たかつ」
対象：福祉施設職員、教師、保育士、幼稚園教諭、学生、ご家族、その他関心のある方

参加費：【一般】3,000円 【学生】1,000円
※学生の方は当日学生証を必ずお持ちください
※受講料は返金できません、代理出席は可能です

定員：200人 12月16日(月) 締切
※定員になり次第締切らせていただきます

申込み：別紙記入またはホームページから
※講座終了後、情報交換会を予定しています
(17:00～19:00 参加費：5,000円)

問合せ：アイ・サポート研究所
〒533-0004 大阪市東淀川区小松1-13-3 水仙福祉会内
TEL：06-6327-7675 FAX：06-6327-7676
URL：http://www.suisen.or.jp/i_support/
E-mail：i_support@suisen.or.jp

主催：アイ・サポート研究所
後援：社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、社会福祉法人大阪市社会福祉協議会、一般社団法人大阪知的障害者福祉協会、大阪市障害児・者施設連絡協議会

2019年 発達講座

